



令和 7 年 5 月のほけんだより

北町保育園

少しずつ保育園生活にも慣れ、笑顔も多く見られるお友達が増えてきました。一方で、胃腸炎症状が引き続き見られています。疲れも出てくる頃なので、お休みの日は家でゆっくり過ごせるといいですね。

★5月の保健日程

7日(水) 3,4,5歳児内科
21日(水) 0,1,2歳児内科

眼科検診・耳鼻科検診について

眼科検診は5/29(木)9時半から、
耳鼻科検診は6/3(火)9時から行います。
対象は全園児ですが、4、5歳児クラスはプールに向けて検診をお休みをすると、各ご家庭のかかりつけ医で受診していただくこととなります。(検診は有料になる場合有)
当日欠席の予定がある方は、検診だけ受けて帰ることも可能ですので、事前にご相談下さい。

〇週に1回は爪を切りましょう。

子どもの爪は薄く、案外皮膚が切れやすいです。お友達や自分の体を傷つけてしまうこともあるので、週末等週に1回は爪を切り、やすりで角を丸く滑らかに磨いて下さい。

★虫よけについて



虫に刺されやすい季節になってきました。
最近、**虫よけや虫刺され治療薬のシールタイプのもの**が販売されていますが、園では小さなお子さんが生活しており、剥がれ落ちてしまった時等に**誤飲の原因**になってしまいますので、**貼っての登園はご遠慮頂いています。**

園で蚊に刺された時は患部を洗い流し、出来るだけ早くかゆみ止めの軟膏を塗る等の対応をしていきます。

蚊に刺された後、**とびひになりやすい、腫れやすいというお子さんは、薄手の長そでシャツや長ズボンの着用をお勧めしています。**

また、園庭で遊ぶ際は半ズボンで転んで怪我をすると傷が深くなる場合もありますので、長ズボンの着用をお勧めします。

＜ 傷の手当について ＞

保育園で使用している薬や処置についてお知らせします。



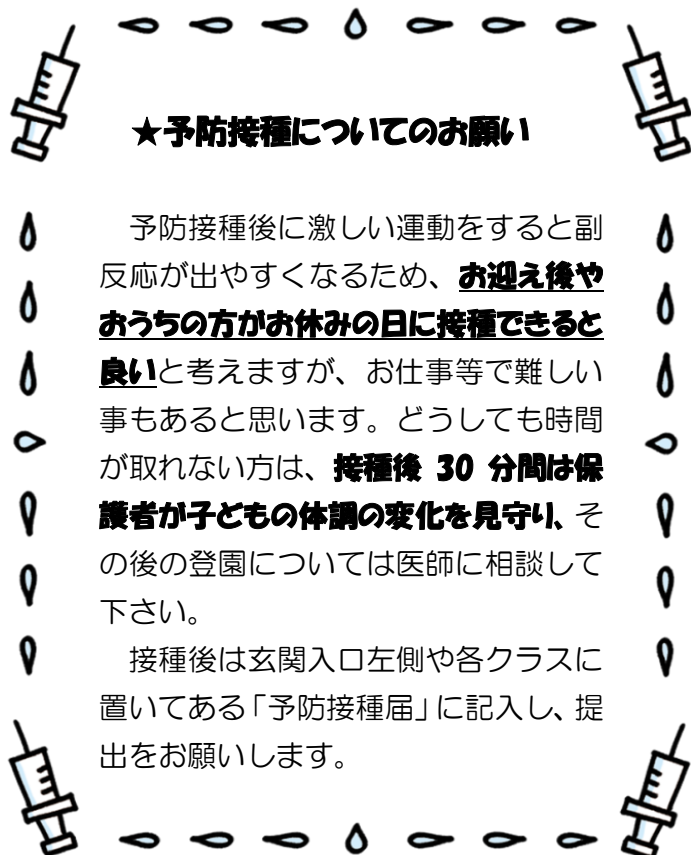
擦り傷などの基本的な手当で…水できれいにした後、プロペトをつけてカットバンを貼る。

顔のけが(ひっかき傷等も)…水をつけたコットンで丁寧に拭いた後、抗生物質の軟膏やプロペトをつけてカットバンを貼る。

虫刺されの手当て…水で流した後、かゆみ止め(レスタミン軟膏やムヒ等)を塗る。腫れが酷い時は保冷材で冷やす。

傷の手当ては、乾燥させるより湿らせた状態の方がきれいに早く治ると言われています。そこで園ではプロペト等を塗り、カットバンを貼っています。

カットバンが汚れた時やお風呂に入る前は必ずはがし、傷口をきれいに洗ってから貼り替えをお願いします。



★予防接種についてのお願い

予防接種後に激しい運動をすると副反応が出やすくなるため、**お迎え後やおうちの方がお休みの日に接種できると良い**と考えますが、お仕事等で難しい事もあると思います。どうしても時間が取れない方は、**接種後 30 分間は保護者が子どもの体調の変化を見守り**、その後の登園については医師に相談して下さい。

接種後は玄関入口左側や各クラスに置いてある「予防接種届」に記入し、提出をお願いします。

半袖をご用意ください！

急に気温が上がる日も出てきました。体温調整を行うため、**半袖のご用意**もお願いします。

＜4 月園内感染症状況＞

ウイルス性胃腸炎 2 名

感染性胃腸炎 1 名

ノロウイルス 1 名

ロタウイルス 1 名

他、嘔吐 2 名、下痢 6 名

新型コロナウイルス 1 名

帯状疱疹 1 名

突発性発疹 1 名

風邪症状 40 名

～暑さ指数(WBGT)について～

暑さ指数の WBGT（湿球黒球温度）は、熱中症を予防することを目的として提案された指標です。単位は気温と同じ ℃ で示されますが、その値は気温とは異なります。人体と外気との熱のやりとりに着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい

- ① 湿度
- ② 日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境
- ③ 気温

の3つを取り入れた指標です。

乳幼児は体温調節機能が大人より未熟で熱中症になりやすいため、園では暑い日が続く期間は WBGT をこまめに測定し、28℃を超える時は屋内活動にしています。環境省の「熱中症予防情報サイト」でも暑さ指数が確認出来ますので、ご参考になさってください。

暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
31 以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20 分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※1は運動を軽減または中止。
25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30 分おきくらいに休憩をとる。
21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

※1 暑さに弱い人: 体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

※ 暑さになれていない時期は、WBGT28未満でも屋外の活動を中止する